


安全データシート

制定日:1999年4月1日
改訂日:2019年4月1日(22版)

化学品及び会社 情報	化学品の名称	アラルダイト®スタンダード(AR-S30、AR-1600) (エポキシ系強力接着剤) 硬化剤		
	会社名	ニチバン株式会社		
	住所	本社	東京都文京区関口 2-3-3	
		担当部門	品質環境管理部 埼玉県日高市大谷沢西原 100 番地	
	連絡先	電話番号	042-989-3716	
FAX		042-989-3719		
危険有害性の要 約	GHS分類	・皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1 ・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1 ・皮膚感作性 : 区分 1 ・水生環境有害性(慢性) : 区分 2 【GHSラベル要素】		
注意喚起 危険有害性情報	注意書き			
		危険 H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。		
		安全対策: P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。 P264 取扱い後は皮膚をよく洗う。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さない。 P273 環境への放出を避ける。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。		
		応急措置: P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐ。無理に吐かせない。 P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ。皮膚を流水/シャワーで洗う。 P304 + P340 + P310 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡する。 P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。直ちに医師に連絡する。 P333 + P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受ける。 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。 P391 漏出物を回収する。		
		保管: P405 施錠して保管する。		
		廃棄: P501 内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行う。		
		GHS分類に該当しない他の危険有害性 ・知見なし		

組成、成分情報	<p>化学物質・混合物の区別： 混合物</p> <table border="1" data-bbox="416 210 1474 461"> <thead> <tr> <th>物質名</th> <th>含有量 wt%</th> <th>CAS No.</th> <th>官報公示整理番号 (化審法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物</td> <td>80-90</td> <td>68082-29-1</td> <td>7-401</td> </tr> <tr> <td>3-アミノプロピルジメチルアミン</td> <td>1-10</td> <td>109-55-7</td> <td>2-158</td> </tr> <tr> <td>トリエチレンテトラミン</td> <td>1-10</td> <td>112-24-3</td> <td>2-163</td> </tr> </tbody> </table>	物質名	含有量 wt%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)	重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物	80-90	68082-29-1	7-401	3-アミノプロピルジメチルアミン	1-10	109-55-7	2-158	トリエチレンテトラミン	1-10	112-24-3	2-163
物質名	含有量 wt%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)														
重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物	80-90	68082-29-1	7-401														
3-アミノプロピルジメチルアミン	1-10	109-55-7	2-158														
トリエチレンテトラミン	1-10	112-24-3	2-163														
応急措置	<p>【一般的アドバイス】 : 危険域から避難させる。 医師に相談する。 この安全データシートを担当医に見せる。 症状に応じた治療を行う。 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。</p> <p>【吸入した場合】 : 吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所へ移動する。 症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。</p> <p>【皮膚に付着した場合】 : 皮膚腐食による傷は直ちに治療処置を行う。 時間が経つと治癒が遅れて回復が難しくなる。 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐ。 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。</p> <p>【眼に入った場合】 : 少量が眼に入った場合、不可逆的な角膜の損傷や失明を起こすことがある。 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続ける。 コンタクトレンズをはずす。 洗浄中は眼を大きく開ける。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。</p> <p>【飲み込んだ場合】 : 気道を確保する。無理に吐かせない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えない。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。 直ちに被災者を病院に連れて行く。</p> <p>【急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状】 ・知見なし。</p> <p>【医師に対する特別な注意事項】 ・症状に応じた治療を行う。</p>																
火災時の措置	<p>【消火剤】 ・現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。</p> <p>【使ってはならない消火剤】 ・大型棒状の水</p> <p>【消火活動時における特有の危険有害性】 ・火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。</p> <p>【有害燃焼副産物】 ・有害燃焼生成物は知られていない。</p> <p>【特有の消火方法】 ・汚染した消火廃水は回収する。排水施設に流してはならない。 ・火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。</p> <p>【消火を行う者の保護】 ・消火活動時には必要に応じて、自給式呼吸装置を装着する。</p>																
漏出時の措置	<p>【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】 ・保護具を使用する。 ・「取扱い及び保管上の注意」および「ばく露防止及び保護措置」に記載した保護措置を参照する。</p> <p>【環境に対する注意事項】 ・製品を排水施設に流してはならない。 ・安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 ・製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。</p> <p>【封じ込め及び浄化の方法及び機材】 ・酸で中和する。不活性の吸収材(例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸収させる。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。</p>																

<p>取扱い及び 保管上の注意</p>	<p>取扱い 【火災および爆発に対する保護対策】 ・標準的な防火方法 【安全取扱注意事項】 ・蒸気/粉塵を吸い込まない。 ・ばく露を避ける-使用前に特別指示を受ける。 ・皮膚や眼への接触を避ける。 ・個人保護については「ばく露防止及び保護措置」を参照する。 ・作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 ・取扱い中のこぼれを防止するには、金属製のトレイにボトルを載せておく。 ・洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。 ・皮膚感受性並びに喘息、アレルギー、慢性また反復性の呼吸疾病を有する人は、この製剤を使用する全ての工程に従事しないことが望ましい。 【接触回避】 ・知見なし。 【衛生対策】 ・使用中は飲食しない。 ・使用中は禁煙。 ・休憩前や終業時には手を洗う。 保管 【安全な保管条件】 ・容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 ・一度開けた容器は注意深く再度密閉し、漏れを避けるため直立させて保管する。 ・ラベルの予防措置を遵守する。 ・適切なラベルのついた容器にしておく。 【混触禁止物質】 ・混触危険物については、「安定性及び反応性」を参照する。 【保管安定性に関する詳しい情報】 ・通常の状態では安定。</p>
<p>ばく露防止及び 保護措置</p>	<p>作業場における成分別ばく露限界/許容濃度 ・許容濃度が設定されている物質を含有していない。 保護具 ・呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。 【手の保護具】 ・材質 : ブチルゴム ・破過時間 : >8h ・材質 : 耐溶剤手袋(ブチルゴム) ・材質 : ニトリルゴム ・破過時間 : 10-480min 備考 : 特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。 【眼の保護具】 ・純水入りの眼洗浄ボトル ・密着性の高い安全ゴーグル ・作業中に異常が発生した場合は、顔面保護シールドと保護衣を着用する。 【皮膚及び身体保護具】 ・不浸透性衣服 ・作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。</p>

<p>物理的及び 化学的性質</p>	<p>【外観】 ・液体、琥珀色 【臭い】 ・アンモニア臭 【pH】 ・11 【融点・凝固点】 ・データなし 【沸点】 ・200°C以上 【引火点】 ・107°C(密閉式引火点試験) 【燃焼又は爆発範囲の上限・下限】 ・データなし 【蒸気圧】 ・データなし 【比重】 ・0.96 【密度】 ・0.96g/cm³(25°C) 【溶解度(水)】 ・不溶(20°C) 【n-オクタノール/水分配係数】 ・データなし 【自然発火温度】 ・データなし 【分解温度】 ・200°C 【粘度・動粘度】 ・25,000 - 50,000mPa.s(25°C)</p>
<p>安定性及び反応性</p>	<p>【反応性】 ・通常の使用では安定 【化学的安定性】 ・通常の使用では安定 【危険有害反応可能性】 ・特に言及すべき危害要因はない。 【避けるべき条件】 ・情報なし 【混触危険物質】 ・情報なし 【危険有害な分解性生物】 ・危険有害な分解生成物は知られていない。</p>
<p>有害性情報</p>	<p>可能性のあるばく露経路の情報 : 本製品自体のデータなし 【急性毒性】 ・経口-製品 LD50(ラット) : >4,000mg/kg ・吸入 : データなし ・経皮-製品 : 急性毒性推定値 : >2,000mg/kg 方法: 計算による方法 ・その他の経路 : データなし 【皮膚腐食性及び皮膚刺激性】 成分: 重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物: アセスメント:強度の皮膚刺激 3-アミノプロピルジメチルアミン: 種:ウサギ 方法:OECD 試験ガイドライン 404 結果:火傷を起こす トリエチレンテトラミン: 種:ウサギ アセスメント:火傷を起こします。 方法:OECD 試験ガイドライン 404 結果:火傷を起こす 【眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性】 成分: 重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物: アセスメント:眼に重傷のおそれ 3-アミノプロピルジメチルアミン: 種:ウサギ 結果:眼に対する不可逆的影響 アセスメント:眼に重傷のおそれ 方法:OECD 試験ガイドライン 404 トリエチレンテトラミン: 種:ウサギ 結果:腐食性</p>

<p>アセスメント:腐食性 方法:OECD 試験ガイドライン 405</p> <p>【呼吸器感作性又は皮膚感作性】 製品: ばく露経路:皮膚 種:モルモット 結果:感作を起こす</p> <p>アセスメント:データなし</p> <p>【生殖細胞変異原性】 成分: 3-アミノプロピルジメチルアミン: in vitro での遺伝毒性 : 濃度 0-300 µg/L 代謝活性化:代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法:OECD 試験ガイドライン 4716 結果:陰性</p> <p>試験タイプ:Ames 試験 濃度:0-10000 µg/plate 代謝活性化:代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法:OECD 試験ガイドライン 471 結果:陰性</p> <p>濃度:0-715.4 µg/L 代謝活性化:代謝活性化系の存在下および非存在下による 方法:OECD 試験ガイドライン 473 結果:陰性</p> <p>トリエチレンテトラミン: in vitroでの遺伝毒性 :濃度 0-200 µg/L 代謝活性化:陰性 方法:OECD 試験ガイドライン 482 結果:陰性</p> <p>成分: 3-アミノプロピルジメチルアミン: in vivo での遺伝毒性 :投与経路:腹腔内注射 投与量 0-100mg/kg 方法:OECD 試験ガイドライン 474 結果:陰性</p> <p>トリエチレンテトラミン: in vivo での遺伝毒性 :投与経路 腹腔内注射 投与量 0-600mg/kg 方法:OECD 試験ガイドライン 474 結果:陰性</p> <p>成分: 3-アミノプロピルジメチルアミン: 生殖細胞変異原 性:細菌または哺乳類培養細胞での試験では遺伝子の突然変異 アセスメント 効果は発現しなかった</p> <p>生殖細胞変異原性-アセスメント : データなし</p>

【発がん性】

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

種: ラット,オスおよびメス

投与経路: 経口

ばく露時間: 54 週間

投与量: 20, 100 and 350 mg/kg 体重

投与頻度: Every second week

NOAEL: 159mg/kg bw/日

種: マウス,オス

投与経路: 経皮

ばく露時間: Complete life span

投与量: 25 μ of 1% aqueous solution

投与頻度: 3x/wk

NOAEL: 8mg/kg bw/日

トリエチレンテトラミン:

種: マウス,オス

投与経路: 経皮

投与量 42mg/kg

投与頻度: 3 日数/週

方法: OECD 試験ガイドライン 451

結果: 陰性

種: マウス,オス

投与経路: 経皮

ばく露時間: 104 週間

投与量 16.8mg/kg

投与頻度: 3 日数/週

方法: OECD 試験ガイドライン 451

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

発がん性-アセスメント : ヒト発がん性としては格づけできない

【生殖毒性】

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

妊娠に対する影響児

試験タイプ: OECD 試験ガイドライン 421

種: ラット,オスおよびメス

投与経路: 経口

投与量: 0、10、50、200 ミリグラム/1 キログラムあたり

一般毒性 親: 無毒性レベル: 200mg/kg 体重

一般毒性 第一世代: 無毒性レベル: 200mg/kg 体重

方法: OECD 試験ガイドライン 421

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

胎児の発育への影響

種: ラット,オスおよびメス

投与経路: 経口

母体の一般毒性: 無毒性レベル: 200mg/kg 体重

方法: OECD 試験ガイドライン 421

結果: 生殖および初期胚発生への影響は確認されなかった

トリエチレンテトラミン:

種: ラット

投与経路: 経口

母体の一般毒性: 無毒性レベル: >750mg/kg 体重

方法: OECD 試験ガイドライン 414

結果: 催奇形影響なし
 種: ウサギ
 投与経路: 経皮
 母体の一般毒性: 無毒性レベル:125mg/kg 体重
 方法: OECD 試験ガイドライン 414
 結果: 催奇形影響なし

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

生殖毒性-アセスメント

: 生殖に対する毒性は無い

動物実験で催奇形性は示さなかった

【特定標的臓器毒性、単回ばく露】

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

標的臓器 : 肺

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ

【特定標的臓器毒性、反復ばく露】

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン :

ばく露経路 : 経口摂取、皮膚に触れた場合、吸入(蒸気)

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類

【反復投与毒性】

成分:

3-アミノプロピルジメチルアミン:

種: ラット,オスおよびメス

NOAEL: 50mg/kg

LOAEL: 250mg/kg

投与経路: 経口摂取

ばく露時間: 28d

ばく露回数: 7 days/week

投与量: 0, 10, 50 and 250mg/kg bw/day

方法:OECD 試験ガイドライン 407

種:ラット、オスおよびメス

NOAEL: 144 mg/m³

NOAEL: 48 mg/kg

LOAEL: 107 mg/kg

投与経路: 吸入(蒸気)

ばく露時間: 6 Weeks

ばく露回数: 7h/day, 5 days/week

方法: 亜急性毒性

標的臓器: 呼吸器系,肺,消化器系, 肝臓, 腎臓

トリエチレンテトラミン:

種: ラット, オスおよびメス

NOAEL: 50 mg/kg/d

投与経路: 経口摂取

ばく露時間: 26 Weeks

ばく露回数: 7 d

方法: 亜慢性毒性

反復投与毒性-アセスメント : データなし

【吸引性呼吸器有害性】 : データなし

【ヒトにおけるばく露臨床例】

	<p>一般情報 : データなし</p> <p>吸入 : データなし</p> <p>皮膚に触れた場合 : データなし</p> <p>眼に入った場合 : データなし</p> <p>経口摂取 : データなし</p> <p>【毒性学、代謝、分布】 : データなし</p> <p>【神経毒性】 : データなし</p> <p>【詳細毒性】経口摂取 : データなし</p>
環境影響情報	<p>【生態毒性】</p> <p>成分: 重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物:</p> <p>魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 1 - 10 ml/l ばく露時間: 96 h</p> <p>トリエチレンテトラミン: 魚毒性 : LC50(Pimephales promelas(ファットヘッドミノウ)): 330mg/l ばく露時間: 96 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: EPA OTS 797.1400</p> <p>成分: 3-アミノプロピルジメチルアミン: ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 59.5 mg/l ばく露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C.2.</p> <p>トリエチレンテトラミン: ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 31.1 mg/l ばく露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C.2.</p> <p>成分: 3-アミノプロピルジメチルアミン: 藻類に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 34 mg/l ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 201</p> <p>EC10 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 26 mg/l ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水 方法: OECD 試験ガイドライン 201</p> <p>最大無影響濃度(Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルナタム):19.53mg/l ばく露時間:72h 試験タイプ:止水式試験 被験物質:淡水 方法:OECD 試験ガイドライン 201</p>

<p>トリエチレンテトラミン: 藻類に対する毒性 : ErC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 20 mg/l ばく露時間: 72 h 試験タイプ: 半静止試験 被験物質: 淡水</p> <p>方法: OECD 試験ガイドライン 201</p> <p>M-ファクター (急性水生毒性) : データなし</p> <p>魚毒性 (慢性毒性) : データなし</p> <p>成分: トリエチレンテトラミン: ミジンコ等の水性無脊椎動物 : EC10(Daphnia magna(オオミジンコ)):1.9mg/l に対する毒性(慢性毒性) ばく露時間:21d 試験タイプ:半静止試験 被験物質:淡水 方法:OECD 試験ガイドライン 202</p> <p>M-ファクター(水性環境有害 : データなし 性(慢性))</p> <p>成分: トリエチレンテトラミン: 微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): 800 mg/l ばく露時間: 0.5 h 試験タイプ: 止水式試験 被験物質: 淡水</p> <p>土中生物に対する毒性 : データなし</p> <p>植物毒性 : データなし</p> <p>堆積物毒性 : データなし</p> <p>地上生物に対する毒性 : データなし</p> <p>環境毒性アセスメント 急性水生毒性 : データなし</p> <p>成分: 重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン・脂肪酸重縮合物: 水性環境有害性(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。</p> <p>土壌の毒性データ : データなし</p> <p>環境に関係する他の生物 : データなし</p> <p>【残留性・分解性】 成分: 3-アミノプロピルジメチルアミン: 生分解性 : 植種源: 活性汚泥 結果: 易分解性 生分解: 65 % ばく露時間: 20 d 方法: OECD 試験ガイドライン 301D</p> <p>トリエチレンテトラミン: 生分解性 : 植種源: 活性汚泥 生分解: 0 %</p>
--

	結果: 易分解性ではない ばく露時間: 162 d 方法: OECD 試験ガイドライン 301D
	: 植種源: 活性汚泥 生分解: 20 % ばく露時間: 84d 方法: 固有の生分解性: 改良 SCAS テスト
生化学的酸素要求量(BOD)	: データなし
化学的酸素要求量(COD)	: データなし
BOD/COD	: データなし
ThOD	: データなし
BOD/ThOD	: データなし
溶存有機炭素(DOC)	: データなし
物理化学的除去性	: データなし
水中での安定性	: データなし
成分:	
3-アミノプロピルジメチルアミン:	
光分解性	: 試験タイプ: 空気 分解(直接光分解): 50 % 方法: 計算による方法
汚泥処理に対するインパクト	: データなし
【生体蓄積性】	
成分:	
3-アミノプロピルジメチルアミン:	
生体蓄積性	: 種: 魚類 生物濃縮因子(BCF): 3.16
成分:	
3-アミノプロピルジメチルアミン:	
n-オクタノール/水分配係数	: log Pow: -0.352 (25 ° C)
トリエチレンテトラミン:	
n-オクタノール/水分配係数	: log Pow: -2.65 (20 ° C) 方法: OECD 試験ガイドライン 117
【土壌中の移動性】	
移動性	: データなし
成分:	
3-アミノプロピルジメチルアミン:	
環境中の分布	: Koc: 29, log Koc: 1.46 方法: 推定 Koc: 4.409, log Koc: 0.644
トリエチレンテトラミン:	
環境中の分布	: Koc: 1584.9 - 5012 方法: OECD 試験ガイドライン 106
土中での安定性	: データなし
【オゾン層への有害性】	
オゾン層破壊係数	: 非該当

	<p>【他の有害影響】 環境動態および経路 : データなし</p> <p>PBT および vPvB の評価結果 : データなし</p> <p>内分泌かく乱の可能性 : データなし</p> <p>吸収された有機結合ハロゲン (AOX) : データなし</p> <p>生態系に関する追加情報-製品 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。長期継続的影響によって水生生物に毒性。</p> <p>地球温暖化係数 : データなし</p>
<p>廃棄上の注意</p>	<p>廃棄方法</p> <p>【残余廃棄物】 : 本製品を排水溝、水路、土壤に侵入させない。薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しない。認可された廃棄物処理業者へ委託する。地域および国の規制を遵守して、危険有害廃棄物として廃棄する。残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄する。</p> <p>【汚染容器及び包装】 : 残りの容器を空にする。製品入り容器と同様に処分する。空の容器を再使用しない。</p>
<p>輸送上の注意</p>	<p>国際規制</p> <p>IATA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連番号 (UN number) : UN2735 ・国連輸送名 (Proper shipping name) : Amines, liquid, corrosive, n. o. s (3-AMINOPROPYL DIMETHYLAMINE, TRIETHYLENE TETRAMINE) ・国連分類 (Class) : 8 ・容器等級 (Packing group) : II ・ラベル (Labels) : Corrosive ・梱包指示 (貨物機) : 855 (Packing instruction (Cargo aircraft)) ・梱包指示 (旅客機) : 851 (Packing instruction (Passenger aircraft)) <p>IMDG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連番号 (UN number) : UN2735 ・国連輸送名 (Proper shipping name) : AMINES, LIQUID, CORROSIVE, N. O. S. (3-AMINOPROPYL DIMETHYLAMINE, TRIETHYLENE TETRAMINE) ・国連分類 (Class) : 8 ・容器等級 (Packing group) : II ・ラベル (Labels) : 8 ・EmS コード (EmS Code) : F-A, S-B ・海洋汚染物質 (Marine pollutant) : 該当 <p>MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給された状態の製品には非該当。 <p>国内規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の法規制情報については、適用法令を参照する。 <p>特別の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここに記載されている輸送分類は情報提供のみを目的としており、製品の特性にのみ基づいて当安全データシートに記載している。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズ、地域または国の規制の違いによって異なることがある。

<p>適用法令</p>	<p>関連法規 消防法 ・第4類 第3石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ 化審法 ・優先評価化学物質 N, N-ジメチルプロパン-1,3-ジイルジアミン 毒物及び劇物取締法 ・劇物 N, N-ジメチルプロパン-1,3-ジアミン : 4.995% N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン: 2.76% 化管法 第一種指定化学物質 トリエチレンテトラミン : 2.8% この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報: CHINV :この製品はスイス既存物質リストに記載された物質を含有する。 DSL :カナダ DSL に記載されている。 AICS :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。 NZIoC :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している。 ENCS :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している KECI :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している PICCS :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している IECSC :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している TCSI :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している TSCA :既存物質リストに記載されている、もしくは既存物質リストに準拠している インベントリー AICS(オーストラリア)、DSL(カナダ)、IECSC(中国)、REACH(欧州連合)、ENCS(日本)、ISHL(日本)、KECI(韓国)、NZIoC(ニュージーランド)、PICCS(フィリピン)、TCSI(台湾)、TSCA(米国)</p>
<p>その他の情報</p>	<p>【引用文献】・JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)ー7.SDSの全体構成及びその内容、付属書D 【注意事項】 ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供を目的とするものであり、保証するものではありません。 ・記載事項は通常の使用条件での使用を対象としたもので他の化学物質を混合、特殊な条件で使用する場合には、お客様ご自身で安全性の評価を行った上でご使用ください。 ・当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。</p>